

ふれあいネットワーク

やまなしの福祉

11 No.332
2016
月号



特集

福祉介護の魅力

- P2 福祉介護のしごと魅力発信 ～THE SIX SENSE～
- P4 ヴァンフォーレ甲府選手が福祉の職場体験
- P5 団体入門介護講座
- P7 山梨学院短期大学と県社協の包括的連携協定締結
- P8 いきいき山梨ねりんピック2016
- P10 社協ボランティアセンター情報コーナー

福祉介護の職場体験をするヴァンフォーレ甲府の森晃太選手(社会福祉法人 壽ノ家) 関連記事p4をご覧ください。

介護・福祉の仕事

ゲームで体験

ザ・シックスセンス
～医療福祉系リアル人生ゲーム～

Six Senses

介護・福祉の仕事の魅力についてゲームを通じて知ってもらおうイベント「ザ・シックスセンス～医療福祉系リアル人生ゲーム～」(山梨県社会福祉協議会主催)が7月31日、甲府市の県立図書館で開かれました。若者や家族連れなど約180人が参加して、ゲームを楽しみながら高齢者や障害者の疑似体験や福祉の仕事について学びました。

次代を担う若い世代の関心を

福祉の仕事や障害への理解を音楽やアートを通じて深めてもらおうと活動しているNPO法人「Ubdobe(ウブドベ)」(東京)が企画し、県社協が主催。介護職の人材が2025年には全国で37万人が不足するとされるなか、特に若い世代に関心を持ってもらうのが狙いです。

運営には、県社協職員やウブドベのスタッフに加えて、ボランティアスタッフとして、県内福祉関係の学校の学生たちなど多くの方の協力がありました。

ゲームの進め方

参加者は2人1組になり、1人は車いすに乗り、もう1人が介助者となって協力して進みます。最初に職業を選択して初任給をもらいます。ルーレットを回して進む数を決め、止まったマス目を書いてある指示に従いながらお金を稼いだり、使ったりしながら「就職ゾーン→結婚ゾーン→子育てゾーン→老後ゾーン」と進んでゴールを目指しました。



受付



2人1組となってスタート



マス目に沿って進みます

「楽しく 福祉の仕事が 学べました」

参加者の 感想

- 介護をよく知らない人にも分かりやすい内容でした。
- 学校にいる障害の子に、今まで以上に優しくしてあげなければいけないなと思いました。
- 楽しく介護について学べました。これからの人生に必要なことなのでしっかり勉強していきたい。
- 今まであまり介護をする経験がなかったので、その難しさを身をもって知ることができました。

結婚ゾーン

「マイホーム購入」のマス目では大金を支払いません。「ある日突然パートナーが失明し、視覚障害者となる」では、1人がアイマスクを着用し、もう1人が介助をしながらブラインドサッカーや食事をとるなどの視覚障害の体験をしました。



アイマスクをしてブラインドサッカー



アイマスクをして食事

子育てゾーン

「出産費用や育児費用で出費がかさむ」ではお金を支払いました。「モノづくりが好きであることがわ



かり、子どもの行動範囲が広がる」では、織り機を使って「さをり織り」に挑戦しました。

織り機に挑戦

老後ゾーン

「定年退職後、脳の血管がつまり手足に障害を受ける」のマス目では、足に重りをつけて歩行器で

レースをしたほか、軍手をした状態で書道を体験。「オレオレ詐欺に会い、お金を失う」のマス目もありました。



軍手をしたまま書道

就職ゾーン

「会社が行っているボランティア活動に参加し、介護施設に行く」のマス目では、スタッフに「立ち上がりの三原則」を教えてもらいながら、高齢者の移乗介助を体験。「不況のあおりで減給」ではお金を支払い、「会社が倒産。福祉職に転職」ではお祝い金をもらいました。



移乗介助を体験

最終試験(駐車場)

車いすで駐車場に向かい、福祉車両仕様の輸入自動車「MINI(ミニ)」に乗る体験をしました。車いすから助手席への移乗介助ができれば終了。ゴールの部屋へ向かいました。



ミニの助手席への移乗介助

GOAL

ゴールは社長室です。ここで社長に体験報告を行い、社長から言葉をもらいました。

START

- 介護に関する人や団体がつながる機会になりました。
- どのブースも工夫されていて面白かった。年齢を問わず参加できる内容が良かった。
- 福祉を身近に感じることができる良い機会になりました。
- 福祉や介護にあまり関心がなかったけど、興味がわきました。
- 高齢者や障害者の疑似体験をすることができ、介護福祉を身近に感じました。



参加者が記念撮影

笛吹市の「壽ノ家」

VF甲府・森選手が 介護の仕事体験

入浴介助や食事介助を体験

森選手は7月27日、笛吹市石和町四日市場の甲州リハビリテーショングループ社会福祉法人「壽ノ家」(戸島義人理事長)を訪れて、まず職員から、施設の概要や仕事の内容などについて説明を受けました。

続いて実際に入所者の入浴介助を体験。「お湯の温度は大丈夫ですか」などと声を掛けたり、背中をタオルで洗って流したりしました。入所者も「気持ちいいよ」と笑顔で話していました。

また食事介助も体験。高齢者と「どれを食べますか」などと会話をしながら、スプーンを使って食事を口に運んでいました。最初は「緊張した」(森選手)ということで、なかなかうまくできませんでしたが、職員のアドバイスを受けながら、介助をしていました。

高齢者との接し方を勉強

森選手は甲州リハビリテーショングループの夏祭りにも参加。入所者の車いすを押して一緒に会場に向かい、祭りを楽しみながら交流しました。森選手は「介護の仕事を少しだけですが体験できました。高齢者との接し方などとても勉強になり、良い機会になりました。なかでも皆さんが笑顔返してくれたのがうれしかった」と感想を話していました。

職場体験事業

福祉の仕事に興味・関心のある方、または資格を有しながら福祉・介護の分野に就業していない方等に対して職場体験の機会を提供する事業

詳しくは、県社協ホームページ
(<http://www.y-fukushi.or.jp>)に掲載
または、福祉人材センター ☎055-254-8654

森晃太(もりこうた)選手

愛知県出身。名古屋グランパスU18から今年VF甲府に入団。背番号25、ポジションはFW、身長175cm。体重69kg。19歳。

山梨県社会福祉協議会(山梨県福祉人材センター)が実施している「職場体験事業」を利用して、サッカーJ1ヴァンフォーレ甲府(VF甲府)の森晃太選手が実際の福祉・介護の現場で介護の仕事を経験しました。



食事介助を体験



入浴介助を体験



車いすのお年寄りと一緒に夏祭りの会場に向かいます

▼VF甲府の海野一幸会長、マスコットのヴァンくんと一緒に夏祭りに参加



夏休み中の小中学生が 介護体験!

介護実習普及センターでは、児童生徒対象の介護体験を行っています。夏休み期間中、県内の2つの町村社会福祉協議会が介護実習普及センターを利用されました。



高齢者疑似体験をする小学生

小学生ボランティア体験講座

鳴沢村社会福祉協議会が主催の「小学生ボランティア体験講座」では、小学生34名が来所されました。低学年は介護箸を作った後、福祉用具を見学し、「介護箸を使えば、右手をけがした時に左手でも食べられると思った」「介護用のトイレを使う人がいるのだなと思った」等の感想を伝えてくれました。

また、高齢者疑似体験をした高学年は、「声が聞こえにくくなって大変だった」「おばあちゃんのお手伝いをいっぱいしたい。家の人にちゃんと伝えたい」等、高齢者の心身の変化を感じ、自分にできることを考えていました。(8月3日)



福祉用具の見学をする小学生

児童健全育成事業中学生介護講座

南部町社会福祉協議会が主催の「児童健全育成事業中学生介護講座」では中学生16名が来館され、午前中は高齢者疑似体験を、午後は車いすの操作や杖歩行の介助、福祉・医療に関わる職業について学んだ他、介護箸と万能カフ作りにも挑戦しました。

盛りだくさんの1日でしたが、参加された中学生はお互い声をかけあいながら体験に取り組み、「高齢者の気持ちを実感でき、大変さを学べた」「身近に困っている人や高齢者の方などがいたら助けたいと思った」等の感想を下さいました。(8月10日)



▲介護箸作りをする中学生

福祉・医療に関わる職業について学ぶ中学生▶



お気軽にお問い合わせを...

介護実習普及センターで開催している団体向け講座は、このような福祉教育にもご活用いただけます。お気軽にお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ・お申し込み先】

介護実習普及センター ☎055-254-8680 日時や内容をご相談に応じます。

～介護実習普及センターでは 団体向け講座を実施しています～

8月23日に行った団体入門介護講座(高齢者疑似体験)を受講された北杜市地域包括支援センターより、お話を伺いました。



団体入門介護講座

Q 講座受講者は、どのような方々ですか。

A 北杜市で行っている「介護予防サポートリーダー養成講座」の受講者です。

Q 「介護予防サポートリーダー」とは、どのような事をする方々ですか。

A 介護予防の一環とし「地域が高齢者を支えるのではなく、高齢者が地域を支える」事を目指し、元気でいきいきと地域で生活が出来るような、まちづくりを担っていく方々です。具体的な活動内容として、公民館カフェの実践・地域の高齢者への声掛け・介護予防事業への協力、筋力元気あつぷ事業、地域での集まり(無尽など)での講師を行います。

Q 団体入門介護講座(高齢者疑似体験)を受けた狙いは何ですか。

A 高齢者疑似体験を通し、生活上の不便さを感じ、高齢者の介助に必要なポイントを理解して頂く事です。そこから、今後の活動の参考にしてもらいたいです。

受講者の声

- ★高齢者の大変さ、苦痛さが実感出来たので今後の介護に役立てたい。
- ★20年後の高齢者疑似体験出来てよかったです。
- ★とても勉強になりました。もう少し研修を早めに受けていたら良かったと思います。
- ★現在、訪問介護ヘルパーとして仕事をしていますが、今日の疑似体験はとても役に立ったと思いました。改めて高齢者の体の不便さを少しでも知ることが出来、相手の側に立っていかうと思います。
- ★「老化」している自身ですが、自分が介護してもらうまで、周りの方の手助けが出来ればと研修に参加しました。良い体験が出来ました。

講座のご案内

介護実習普及センター
団体向け講座～5名以上のグループでご参加下さい～

講座名	内容	定員	開催日	所要時間	開催場所
入門介護講座	介護のこころの講義や高齢者疑似体験を通して高齢者への理解を深めます。	30名	通年(随時)	2時間30分	山梨県 福祉プラザ
福祉用具体験講座	展示室にある福祉用具に、実際“見て、触れて、体験”します。	20名		1時間30分	
介護保険の仕組みとサービス	介護保険制度の基本的な内容について学びます。	20名		1時間30分	
認知症サポーター養成講座	認知症の基礎知識や認知症の方への対応を学びます。	30名		2時間	

※開催日については、団体からの希望日時と相談になります。 ※開催場所については、「福祉用具体験講座」以外の講座は、出張も可能です。

【お問い合わせ・お申し込み先】 介護実習普及センター ☎055-254-8680

地域福祉の向上へ 連携します

県社協と山梨学院短期大学が 包括的連携に関する協定書に調印



協定書を手にする芦澤敏久県社協会長と
山内淳子山梨学院短大学長(左)
＝山梨学院広報スタジオ

山梨県社会福祉協議会(芦澤敏久会長)と、山梨学院短期大学(山内淳子学長)は互いの社会的資源の活用を図りながら、多様化する地域の課題解決に取り組むことを目的に、県内では初めてとなる包括的連携協定を結びました。

8月19日に甲府市の山梨学院大学キャンパスにある山梨学院広報スタジオで行われた調印式で、芦澤会長と山内学長が協定書にサインしました。芦澤会長は「この協定を機に、近い将来には県内の学生ボランティアのネットワーク構築につなげたい」とあいさつ。山内学

長は「山梨県社会福祉協議会の持つ地域福祉に関わる多くの情報やスキルを学生の育成のために活用していきたい」と話しました。

山梨学院短大と県社協は保育分野における保育士の養成や啓発活動で連携してきました。山梨学院短大は「地域社会の課題解決に向け、創造的に取り組むことができる人材の育成」を目標に、県社協は「児童福祉分野の発展、更には福祉人材の養成」を目標に、また、共通の目的である「地域課題の解決、豊かな地域社会の創造・発展」のために、今後より一層、連携を深めていきたいと考えています。



協定書にサインをする芦澤敏久県社協会長と山内淳子山梨学院短大学長(左)
＝山梨学院広報スタジオ

学生ボランティア活動を支援

今回の協定に関する連携の第1弾として、市町村社協や社会福祉施設・団体、NPOなどから寄せられるボランティアに関する情報を県社協から山梨学院短大に提供し、学生のボランティア活動への参加を積極的に支援していくことから始めていきます。

包括的連携協定の 目的と内容

目的

県社協と山梨学院短大の有する知的・人的及び物質的資源の活用を図りながら、包括的連携協力を進めることにより、地域の課題解決・豊かな地域社会の創造・発展に寄与することを目的とする。

連携・協定内容

左記の目的達成のため次の事項について連携協力する。

- ① 子育て支援等に関する事
- ② 食育の推進に関する事
- ③ まちづくり等の地域振興に関する事
- ④ NPO等の地域活動に関する事
- ⑤ 前各号に掲げるもののほか、目的を達するため必要な活動等に関する事

いきいき山梨ねんりんピック2016

明るく元気で楽しい 世代間交流

9月24日(土)に「いきいき山梨ねんりんピック」が開催されました。

この大会は、お年寄りから子どもまで、世代を超えて交流を深めることを目的に、いきいき山梨ねんりんピック実行委員会(事務局:山梨県社会福祉協議会)主催で、甲府・小瀬スポーツ公園をメイン会場に開催されました。



選手宣誓



開会式



後藤齋知事(実行委員会 会長)あいさつ



ふれあい芸能フェスティバル



グラウンド・ゴルフ



ゲートボール



ペタンク



出展ブース





ソフトテニス



輪投げ



ニュースポーツ(ストライクターゲット)



ソフトバレーボール



バウンドテニス



ラージボール卓球



太極拳



弓道



剣道

ふれあい広場
(風作り)

この日は、60歳以上の皆さんが参加できるラージボール卓球や太極拳などの各種スポーツ交流大会、囲碁や将棋などの文化交流大会が行われました。

子どもたちと一緒に参加できる「三世代交流」をテーマに、凧づくり、絵手紙、押し花などの体験コーナーや高齢者の皆さんが教えてくれる昔懐かしい遊び、その他さまざまなイベントを通じて世代を超えた交流を深め、楽しい一日を過ごしました。



囲碁



ジョギング

都留市ボランティアセンターでは、市民のボランティア活動への関心を高め活動参加へのきっかけづくりをすすめるとともに、その活動を推進するための様々な支援事業を行っています。



都留市ボランティアセンター

《情報・相談》

- 広報誌の発行
- 活動に関する情報の収集・資料の提供
- 活動に関する相談・登録・斡旋
- ボランティアボードの設置
- ホームページ開設

《調査・研究》

- 実態調査実施
- 意識調査実施
- 様々な課題についての調査・研究

《育成・組織化》

- ボランティア入門・経験者編講座の開催
- 活動プログラムの開発
- 都留市ボランティア連絡会の支援
- 災害救援ボランティア・福祉救援ネットワーク活動

《啓発・普及》

- 都留市ボランティアまつりの開催
- 地区ボランティアコーディネーターの配置

《福祉教育の推進》

- 都留市ボランティア推進校の指定
- ボランティア推進校連絡会議の開催
- 中学生のボランティア体験学習

《ボランティア活動保険》

- 活動中の事故に備えたボランティア保険の受付・加入促進

《会場・機材の貸出》

- 活動場所の提供
- 活動機器・機材などの貸出
(車イス、アイマスク、杖、点字器・点字板、高齢者疑似体験セット)

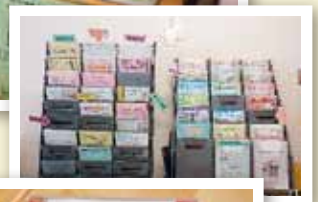


～第15回都留市ボランティアまつり～



～ボランティアロビー～

ボランティア活動を広めるため
様々な取り組みを
行っています♪



～都留市「ボランティアソング 愛のうた」～



都留市ボランティアマスコット
「ラブ&ピース」

都留市ボランティアセンター

稼働日：月曜日～金曜日 AM8:30～PM5:15

休日：土・日・祝日、年末年始

〒402-0051 都留市下谷2516-1 いきいきプラザ都留内

TEL:0554-46-5115 FAX:0554-46-5103

URL:<http://www.tsuru-shakyo.jp>

全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償 ボランティア活動保険



対象となるボランティア活動

- ◆グループの会則に則り企画、立案された活動であること
(グループが社会福祉協議会に登録されていることが必要です。)
 - ◆社会福祉協議会に届け出た活動であること
 - ◆社会福祉協議会に委嘱された活動であること
- ※活動のための学習会または会議などを含みます。
※自宅などとボランティア活動を行う場所との通常の経路による往復途上を含みます。(自宅以外から出発する場合は、その場所と活動場所への往復途上となります。)

保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなった。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこわした。(賠償責任の補償)
- 自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

補償金額(保険金額)・年間保険料(1名あたり)

		Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,200万円	1,800万円	
	後遺障害保険金	1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円 (限度額)		
年間保険料	基本タイプ	300円	450円	
	天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)	430円	650円	

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償します(天災危険担保特約条項)が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

ボランティア行事用保険(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

- 行事参加者(主催者〔個人〕を含みます。)全員のケガを補償(往復途上も含みます。)
- 行事主催者の損害賠償責任も補償

送迎サービス補償(傷害保険)

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

- 送迎・移送サービス利用者を特定したAプラン
- 送迎・移送サービスのための自動車を特定したBプラン

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

- 在宅福祉サービス (公的介護保険対象外サービスを含みます。)
- 障害福祉サービス
- 児童福祉サービス
- 障害者地域生活支援事業
- 地域福祉サービス
- 介護保険サービス など

● お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第三課
TEL: 03 (3593) 6824
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。



善意をありがとう

食品のご寄付

JA共済連山梨(鷹野武 本部長)様より生活物資(食料品等)のご寄付をいただき、8月8日(月)、県福祉プラザにおいて贈呈式を行いました。食品のご寄付は平成23年から毎年いただいております。今回で10回目となります。

ご寄付いただいた食品は、NPO法人フードバンク山梨に贈られ、子どものいる貧困世帯等の支援に役立てられます。ありがとうございました。



JA共済連山梨副本部長中込和也様(写真右)

福祉のおしごと マッチングカフェ

採用予定のある事業所と、お仕事を探しているあなたをつなぐ、個別面接・相談会を行います!

求人事業所の担当者が、日頃から疑問に思っていることや、知りたい事など、あなたのためだけにお答えします。コーヒーを飲みながらゆっくり「福祉のおしごと」のはなしをしませんか?

毎週水曜日、14時から16時まで。場所は、山梨県福祉プラザ4階の福祉人材センターです。参加事業所は、本会ホームページをご覧ください。

※平成29年3月まで、毎週開催予定です。
※11/23(水)は祝日のため11/24(木)に開催します。
詳しくは、お電話にてお問い合わせください。

問い合わせ 福祉人材センター ☎055-254-8654

地域密着型・小規模就職相談会を開催します。

地域を限定して仕事を探したい、自宅に近い所で、空いている時間を活かして仕事をしたい、あるいは、福祉の仕事に関心はあるけれど、まだ具体的な就職活動はしていないという方々に、求人事業所の人事担当者と直接情報交換していただく場を設けます。ぜひ、この機会にご参加ください。参加費、事前申し込みは不要です。

- 日時** 峡東エリア(この管内の求人) …11月21日(月) 13:30~15:30
 峡南・南アルプスエリア(この管内の求人) …平成29年1月24日(火) 13:30~15:30

会場 山梨県福祉プラザ4階会議室(甲府市北新1-2-12)
 ※その他のエリアを対象とした相談会も順次実施します。
 ※参加事業所は各開催日1週間前より山梨県社会福祉協議会ホームページ(<http://www.y-fukushi.or.jp>)に掲載予定です。

問い合わせ 福祉人材センター ☎055-254-8654

広報誌「やまなしの福祉」をパソコンやタブレットで閲覧

広報誌「やまなしの福祉」は、本会ホームページでPDF版の閲覧ができるほか、電子ブックでもご覧になれます。

タブレット・スマートフォンでの電子ブックのご利用の場合は、下記のQRコードでアクセスしてアプリ(ActiBook無料)をダウンロードしてください。指定のID(毎号変更)を入力すると閲覧できます。

ホームページ <http://www.y-fukushi.or.jp>

11月号は以下の通りです。

11月号のID
yfukushi332

Android用



iOS用



※パスワードは必要ありません

貸し出し図書紹介

すきま時間で学ぶ 介護スタッフのトラブル予防ハンドブック



監修 介護サービスの人材育成研究会・トラブル予防部会
発行所 第一法規株式会社
 〒107-8560 東京都港区南青山2-11-17
 Tel.03-3796-5474(福祉市場開拓部)
 ホームページ <http://www.daiichihoki.co.jp>

介護現場におけるケアの実践はもとより、ケアの質やサービス業としての意識の向上が求められる忙しい介護スタッフの皆さんに、介護スタッフに必要な気づきを学んでいただくことを目指し、職場でも自宅でも学べる本となっております。

介護職の心構え、接遇、スタッフや利用者・家族とのコミュニケーション、高齢者理解など「社会人+介護職」としての知識を身近に起こりがちな事例から、事例解説、学習のポイントと必要な基礎知識が身に付けられます。

このほかにも介護・看護・福祉についての本(約300冊)やビデオ・DVD(約200本)を貸し出しております。詳しくは県立介護実習普及センターにお問い合わせください。
 ☎055-254-8680

幼稚園 福祉施設等でも活躍!
 ウイルスによる食中毒の対策に!
 柿渋パワー製剤
アルタンノロエース
 2012.9 特許取得
 食品や調理器具をはじめ、施設内の人が手をふれる場所全ての衛生管理に

アルタン 検索

現場の声をカタチに...いつもアルタンから。
アルタン株式会社
 東京都大田区東糀 3-11-10 TEL 03-3743-5705

広島大学との共同研究で開発されたエタノール製剤・食品添加物です。